

第 170 回 計測技術委員会議事録 (案)

日 時 令和 3 年 5 月 14 日 (金) 14:00～15:50

場 所 Zoom によるオンライン開催

出席者 委員長 仲嶋 (福山大)

副委員長 山田 (産総研)

委 員 河村 (アンリツ), 福本 (佐賀大), 布施 (電中研),
松村 (日大), 水野 (NICT)

幹 事 作本 (日大)、今池 (日大)

幹事補佐 白井

資 料

170-1 第 134 回 基礎・材料・共通部門 研究調査運営委員会報告

170-2 2021 年度 計測技術委員会活動計画

170-3-1 2021 年度 計測研究会実施計画

170-3-2 2021 年度 計測研究会実施計画 (IEEE 学生研究発表会)

170-4-1 2020 年度 計測技術委員会活動状況

170-4-2 2021 年度 計測技術委員会活動状況

170-5 新型コロナウイルス感染状況を踏まえた委員会・研究会等の取り扱いについて

170-6-1 研究調査会議「研究会の今後のあり方」原案のご送付と部門内でのご検討のお願い

170-6-2 電気学会研究会の今後のあり方について

議 事

1 前回議事録の確認

異議なく承認された。

2 運営委員会報告

仲嶋委員長より資料 170-1 に基づき説明があった。

・第 134 回運営委員会 (2 月 15 日開催) について、大谷前委員長から資料のとおり報告があった。計測技術委員会の委員を増やす件については、次回委員会で相談したい。

3 2021 年度計測技術委員会活動計画

作本幹事より資料 170-2 に基づき説明があった。

・活動計画の内容は三次案と変更はない。
・新設の調査専門委員会は、新型コロナの感染状況を考慮し、終息の目処が立ってから企画を提出できればよいのではないかと。次回委員会で議論したい。

- ・ SICE センシングフォーラムについて、計測技術委員会の対応を佐賀大学の木本先生に確認する。
- ・ 次回委員会で 2022 年度活動計画一次案を検討する。

4 2021 年度計測研究会実施計画

作本幹事より資料 170-3 に基づき説明があった。

- ・ 6 月の「電磁波計測・リモートセンシング」の研究会は 4 件の発表をオンラインで行う。
- ・ 11 月の佐賀大学での研究会は、佐賀大学海洋エネルギー研究センターの見学と合わせて開催する。同センターの予約はまだ行っていない。
- ・ 佐賀大学の新型コロナ拡大防止に関する活動制限指針によれば、コロナが終息しないと対面での開催は難しい状況となっている。
- ・ 11 月の計測研究会に合わせ、見学会と学生研究発表会を開催することは日程的に難しいのではないかと。したがって、11 月 25 日～26 日に研究会と見学会（25 日午後）を開催し、11 月の学生研究発表会は 12 月と合体させて開催する。
- ・ 感染状況により対面での研究会開催が難しい場合は、見学会を中止し、11 月 26 日にオンラインで研究会を開催する。
- ・ 2021 年度の学生研究発表会は、12 月の 1 回のみで開催し、20 名を募集の目途としたい。詳細は、12 月の計測研究会と学生研究発表会の関係者で協議する。
- ・ 佐山委員の担当は、出席された際に相談し決めることとする。

5 2020 年度及び 2021 年度計測技術委員会活動状況

作本幹事より資料 170-4 に基づき説明があった。

- ・ 2020 年度は新型コロナウイルスの影響から、研究会の開催は 2 回のみとなった。

6 新型コロナウイルス感染状況を踏まえた委員会・研究会等の取り扱いについて

仲嶋委員長より資料 170-5 に基づき説明があった。

- ・ 資料は 3 月 22 日時点の指針である。感染状況により内容が変更になる可能性があるため、随時、委員に新しい情報を展開する。

7 研究会の今後のあり方について

仲嶋委員長より資料 170-6 に基づき説明があった。

- ・ 研究会の有料化について、各技術委員会で意見を取りまとめ、5 月 18 日開催の A 部門運営委員会で審議することになっている。
- ・ 電子情報通信学会での経験から、現地において、受付担当者が名簿から参加者の ID を確認するのは大変な作業となる。参加者が ID を自己申告し、学会事務局が事後に確認する方法がよいのではないかと。また、聴講のみで飛び込み参加があった場合、ID の付与や

支払い処理などで受付担当者に負担がかかる。

- ・計測技術委員会からは、現地担当者の負担への懸念、参加費の徴収と参加者のモチベーション（意識レベル）向上との疑問を意見とする。

次回 7月30日（金）14時～17時 場所 未定

IEEE 関係議事録

議 事

- ・仲嶋先生、大谷先生の退任に伴う役員改選について、次回委員会で候補者を立案する必要がある。

以 上